

製品名: CAMK2 ベータマウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM86084**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05% アジ化ナトリウムを含む PBS で精製された抗体。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:100-1:500
分子量	72.7kDa

抗原情報

遺伝子名	CAMK2 beta
別名	Calcium/calmodulin-dependent protein kinase type II subunit beta, CaM kinase II subunit beta, CaMK-II subunit beta, 2.7.11.17, CAMK2B, CAM2, CAMK2, CAMKB
遺伝子 ID	816.0
SwissProt ID	Q13554
免疫原	この CAMK2 ベータ抗体は、ヒト CAMK2 ベータの 1 ~ 503 アミノ酸の組み換えタンパク質で免疫化されたマウスから生成されます。

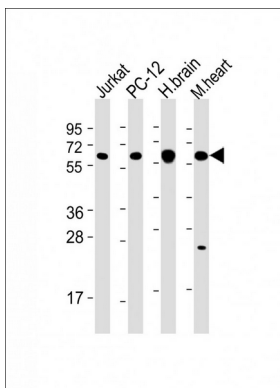
背景

カルシウム/カルモジュリン依存性タンパク質キナーゼ。Ca(2+)/カルモジュリン結合および自己リン酸化後に自律的に機能し、骨格筋における樹状突起スパインおよびシナプス形成、神経可塑性、および筋小胞体 Ca(2+)輸送の調節に関与する。ニューロンでは、キナーゼ非依存的にアクチンフィラメントに結合して束ねることで、可塑性中のアクチン細胞骨格の再編成に重要な構造的役割を果たす。この構造機能は CaMK2A の正しい標的化に必要であり、CaMK2A は NMDAR の下流で作用して樹状突起スパインおよびシナプス形成を促進し、長期増強 (LTP) および海馬依存性学習を可能にするシナプス可塑性を維持する。発達中の海馬ニューロンでは樹状突起の樹状化を促進し、成熟ニューロンでは樹状突起のリモデリングを促進する。運動に対する骨格筋機能の調節に関与する。遅筋では筋小胞体 (SR) Ca(2+)輸送の調節に関与し、速筋ではリアノジン受容体共役因子であるトリアジンと SERCA2A/ATP2A2 の内因性阻害剤であるホスホランバン (PLN/PLB) のリン酸化を介して SR からの Ca(2+)放出を制御する。

研究分野

-

画像データ



全レーン: 抗 CAMK2 β 抗体 (C 末端) 1:2000 希釈